

柏崎体育

発行所 柏崎体育団

編集人 佐藤和夫

印刷所 柏崎印刷株式会社

年頭の辞

体育的士気の高揚

柏崎体育団長 月橋

玄

一月上旬に閉幕した全国高等学校のサッカー選手権やラグビー選手権大会をみて、少しでも高校スポーツに関心のある人なら必ず気がつかれたことであろう。

それは、この出場校はどこかで聞いたことがあるナ。ハテなんだつたか、アッそうそ甲子園の野球大会だった。と気付く点である。本年の高校サッカーラグビーの出場校中、夏の甲子園大会に出場した学校、又は六十一年大会には出なかつたが常連といつてもよいものをあげるとザーッとみただけでも次のようにある。

秋田商、東海一、高知、鹿児島実業、日大山形、天理、高松商、徳島商、国学院久我山、報徳学園、広島工などがあり、詳しくみればまだあることであろう。また種目をかえてみても報徳の如く駅伝に強いもの、バレーやバスケットに強いものもある。

野球部が活躍した、負けてなるものか、相手が全国大会出場なら、こつちは全国大会入賞だ

サッカーも全国大会行だ、わが部も続かなくてはだめだ、このような気合の充実こそ、私は体育的士気といいたいのである。身体の中からモリモリとふくれ上ってくる士気の培養こそ青少年教育の中心的命題のはずである。極論すると、どの部でもより、突出させることである。その突出が他に与える影響は測り知れないほど大きいのである。単に運動部のことだといつてはならない。これが進学にも同じ傾向を与えていくのである。

どうして、これらの学校はどの種目に對しても強いのであるか。野球ばかりやっているから野球が強いのではない。何んでも強いのである。ラグビーで優勝した久我山高校を知っている友人の話では、この高校は校舎であろうと校庭であろうと、どこも掃除、整頓が行き届いていてすばらしいものだそうである。だらしく、うすぎたなくしておくのが自由の教育だなんていっている人はぜひ一度、いって見たらよいと教えてくれた。筆者は久我山高校は視察していないので友人の言葉を確証は出来ない。しかし、充分あり得ることだと思っている。若い者の教育はすべて士気の高揚だと言い切る自信はないが、士気の高揚が中心的、根元的であり、最も大切なものであることは確信している。

わが柏崎体育団の昨年の実績は「惜敗の歴史」とまで酷評されている。準優勝は多いが優勝が少ないためである。今年はこの「惜敗の歴史」を返還し、「優勝の年」にしたいものである。それは「体育士気」の高揚をおいてほかに対策はない。志を新たにし、目標をしつかり定めてがんばろうではないか。



体育指導者は、この体育的士気の高揚を引き出す人でなくてはならない。体育的士気を引き出すのに一番大切なことは指導者自身の体育的士気である。柏崎の体育指導者は果して私のいう体育的士気があるのか。

団体ならば団体が一致し、学校ならば学校が一丸となつて努力するところにはじめてこれが生じてくるものであり、異論百出では士気の高揚はあり得ない。隣りの韓国がアジア大会とオリンピック大会を絶好の機会としてとうえ、この成績をもつて、大きく産業の飛躍と制覇、外交のイニシアチブの獲得に乗り出そうとしているのに、これに対する日本のスポーツがプロだ、アマだなんていう次元の低い問題で論争しながら出場しているのだから惨敗するのも当然である。韓国は明らかに体育士気の高揚をねらっているのである。

こんな明々白々のことがわからぬ教育者や体育指導者がいたら、それ自体すでに落第といってよい。

わが柏崎体育団の昨年の実績は「惜敗の歴史」とまで酷評されている。準優勝は多いが優勝がないためである。今年はこの「惜敗の歴史」を返還し、「優勝の年」にしたいものである。それは「体育士気」の高揚をおいてほかに対策はない。志を新たにし、目標をしつかり定めてがんばろうではないか。

じてくるものであり、異論百出では士気の高揚はあり得ない。

感謝状

藍澤悌三郎殿



「医者どんが走っているぞ」「あれくらいならおらでも走れるお」昭和49年中嶋石地区民のみんなのスポーツ「日の出マラソン」の発足以来休むことなく走り続ける医者どんの姿は地域住民の健康マラソンへの開眼役であります。運動不足が心身に赤信号をともしていることを諭されるあなたに藍澤医院を訪れる者は健康で明るく豊かな人間性の医者どんに心のやすらぎを覚えると共に「論より証拠」実践者の説得力に強い感銘を受けるのであります。

これは地域住民のスポーツ活動の大きな支えであります。このようであつてあらゆる者は医者の立場から体育・スポーツの日常化を実践し提唱されることは今後の柏崎体育の新たな指針ともなるものであります。本団はあなたの地域スポーツ 健康体育への実践に対し深甚なる敬意を表しここに感謝状を贈り表彰いたします。

昭和62年1月22日

柏崎体育団長 月橋 奎

平田 幹夫（柏崎高校）
・第12回新潟県高等学校陸上競技一年生大会、円盤投
第1位、34秒60

林 健一（柏崎高校）
・第30回北陸地域陸上競技選手権大会、二〇〇メートル、第3位
22秒6

佐藤重則、久家猛、品田克
久、林健一
昭和61年度北信越高等学校体

高橋 敬二（西越高高校教員）
・第6回新潟県郡市対抗陸上競技大会、一般砲丸投、第1位
12米25

曾田 裕童（柏崎高校教員）
・第6回新潟県郡市対抗陸上競技大会、やり投、第3位、46メートル
13米30

小黒 利明（柏崎市役所）
・第16回北陸実業団対抗陸上競技大会、三段跳、第1位、
6メートル
94

石川 章（柏崎市役所）
・第6回新潟県郡市対抗陸上競技大会、壮年走幅跳、第1位
5メートル

柏崎市役所四〇〇メートルリレーチーム
・第17回新潟県実業団対抗陸上競技大会四〇〇メートル
第2位、45秒6

柏崎市役所
・第17回新潟県実業団対抗陸上競技大会四〇〇メートル
第2位、45秒6

三井田勝毅（第三中学校）
・第32回全日本中学校通信陸上競技大会新潟県大会、一一〇メートル、第1位、15秒0（大会新）

星野 武、大島直樹、三井田勝毅、中野 拂、小山秀一
・第17回新潟県中学校選抜総合体育大会、一一〇メートル、第1位、15秒0（大会新）

ム 第7回北信越中学校総合競技大会、一一〇メートル、第3位
15秒0 大会新

第三中学校八〇〇メートルリレーチーム
・第17回新潟県中学校選抜総合体育大会、一一〇メートル、第1位、15秒0（大会新）

金子大輔
・第17回新潟県中学校通信陸上競技大会新潟県大会、八〇〇メートル、第1位、1分36秒
県中学新

田川 亨（第三中学校）
・第7回北信越中学校総合競技大会、三千メートル、第2位、9分02秒6

ム 第3回中学校四〇〇メートルリレーチーム
・第8回新潟県中学校一、二年技大会、四〇〇メートル、第1位、49秒3、大会新

星野 武、大島直樹、三井田勝毅、小山秀一、金子大輔
・第6回新潟県郡市対抗陸上競技大会、四〇〇メートル、第1位、49秒3

ム 第16回北陸実業団対抗陸上競技大会、棒高跳、第1位、4米40
品田 克久（柏崎高校）
・昭和61年度新潟県陸上競技選手権大会、二〇〇メートル、第1位
22秒94

ム 第17回新潟県郡市対抗陸上競技大会、一般一〇〇メートル、第1位、10秒7、大会タイ

ム 第17回新潟県郡市対抗陸上競技大会、二〇〇メートル、第3位、23秒8
桑原 真一（柏崎市役所）
・第17回新潟県実業団対抗陸上競技大会、一〇〇メートル、第1位、11秒5
ム 第16回新潟県郡市対抗陸上競技大会、四〇〇メートル、第1位、49秒3 大会新

柏崎市チーム
小関久美子、石田真子、片桐春美、中沢久子
・第6回新潟県郡市対抗陸上競技大会、四〇〇メートル、第1位、49秒3
ム 第16回新潟県郡市対抗陸上競技大会、男女総合、第2位、八二・五点
柏崎市役所四〇〇メートルリレーチーム
・第6回新潟県郡市対抗陸上競技大会、四〇〇メートル、第2位、45秒6
ム 第16回北陸実業団対抗陸上競技大会、四〇〇メートル、第2位、45秒6
柏崎市役所四〇〇メートルリレーチーム
飯田 博、池田浩明、桑原真一、原剛
・第17回新潟県実業団対抗陸上競技大会四〇〇メートル
第2位、45秒6

生陸上競技記録会四〇〇メートル
第2位、45秒5
県中学新

育大会、四〇〇メートルリレー
第2位、42秒97
県中学新

柏崎市四〇〇メートルリレーチーム
石川 章、本間光一、品田克久、林健一
・第6回新潟県郡市対抗陸上競技大会、四〇〇メートル、第1位、44秒6、大会新



感謝状

青柳 喜三郎 殿

あなたのつくるラケットは正に手作りそのものであり競技者に對しても選手個々の希望や体力技倣に合うように改良を加えて試作それを使わせて又試作と正に採算を度外視してのラケット造りを続けてこられたのであります。あなたは又本市出身のデビスカップ選手及び監督として有名な太田芳郎氏ともラケットを通じて知己を得共に本県高校中学のテニス普及にも奔走されこのことから本団と東村山市との体育姉妹都市提携の橋渡しともなられたのであります。

又本市で開催の数々の庭球大会には永年に亘ってラケットの寄贈を続けられそれが選手の励みともなりひいてはテニス人口の増大にも大きく貢献されているのであり本団はあなたのこのご好意とテニス普及にかける情熱に対し深甚なる敬意を表しこに感謝状を贈り表彰いたします。

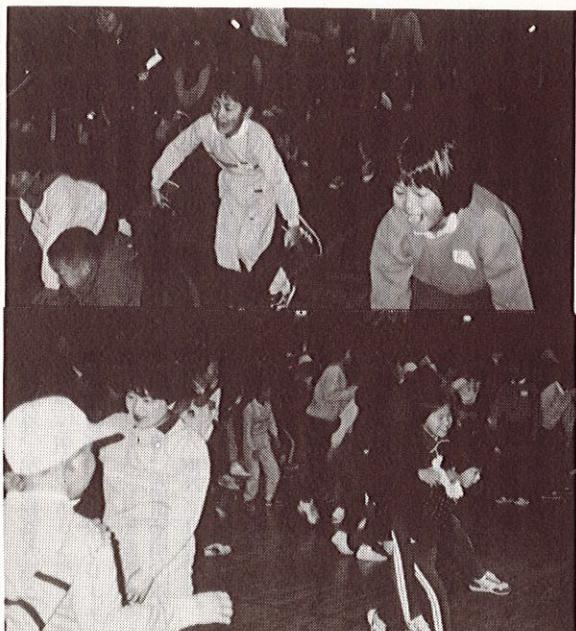
昭和62年1月22日

柏崎体育団長 月橋 奎

佐藤 佐子 (常盤高校)	競技大会、男女総合、第2位 六六点
中沢 久子 (常盤高校)	昭和61年度新潟県陸上競技選手権大会、一〇〇メートル、第1位 12秒70
宮田 直美 (柏崎小学校)	走幅跳、第1位、4メートル64 実
柄沢 直子 (柏崎陸協)	柏木クラブ四〇〇メートルリレーチーム 片山理奈、宮田直美、武田奈央美、渡辺千鶴、長谷川木の実
宮田 直美 (柏崎小学校)	全国少年少女リレー競走大会 県予選会、四〇〇メートルリレー 第1位、54秒3、大会新記録
佐藤 百合子 (新潟日本電気)	第15回長岡ロードレース大会 10キロメートル、第1位、38分01秒
・ 第34回新潟県青年大会	権大会、二〇〇メートル、第3位 25秒9
・ 第15回長岡ロードレース大会	柏崎小学校四〇〇メートルリレーチーム 斎藤 晋、萩野紀之、小林哲也、石井英二
・ 第11回少年少女親善オリンピック大会、四〇〇メートルリレー	長井 裕子 (柏崎) 楠 基次 (柏崎)
・ 北信越パワーリフティング	北信越パワーリフティング 第2位、三七〇キログラム級 第2位、四七五キログラム
・ 六七・五キログラム級	八二・五キログラム級
・ 第1位、二三五キログラム級	六七・五キログラム級



第16回元朝マラソン会



第56回元朝体操会

・ 第11回少年少女親善オリンピック大会、6年生、一〇〇メートル

第1位 13秒7

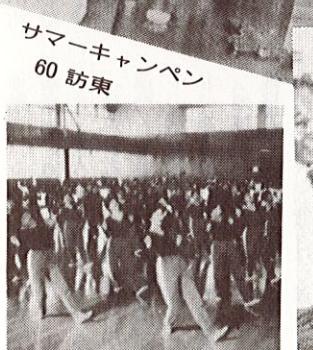
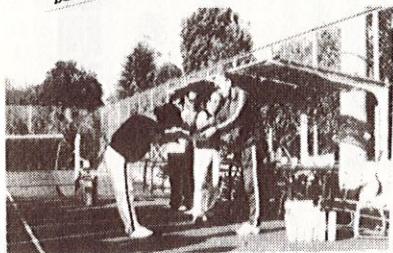
吉田 桃子 (柏崎小学校)

・ 第6回新潟県都市対抗陸上競技大会、砲丸投、第1位
13米34
(バスケットボール)

細田 浩史 (第一中学校)

・ 第34回北陸バケットボール選手権大会、高校男子の部
第1位
小玉 要、千原龍一、小田洋、月橋和彦、堀井輝文、笠原和彦、小黒修二、高橋賢一、竹之内秀和、渡辺弘、遠藤智、佐竹 登、三井田 豊、田村正和、宮田延浩

東村山・柏崎 10年のあゆみ



市民の運動生活・意識調査

柏崎市教育委員会

.....

1、調査の概要

○目的

(1) 柏崎市民の体育・スポーツ活動の実態や健康状態を把握することにより、柏崎市の現状認識とこれまでの行政活動の評価資料とする。

(2) 柏崎市民の体育・スポーツ活動への参加をめぐつての抵抗となる要因や希望する行政施策やニーズを把握することにより、今後の社会体育行政のあり方、方向の検討資料とする。

○時期 昭和五十九年一月

○対象 二十歳以上の市民

○調査方法

柏崎市選挙人名簿から無作為等間隔で対象者三、二十七人を抽出し、調査員が各

対象者をまわり、アンケート用紙を配り、後日回収した。回収数二、九六八人

(回収率九二・三%)

2、調査結果の要約

社会体育行政をより効果的・効率的に推進するためには、行

るために「運動・スポーツ」を行っている人は約3割である。
(2)運動・スポーツに対する必要

感

市民の運動・スポーツに対する必要感は極めて高く、運動・スポーツを行うことによって、心身の健康を促進・維持するこ

とに期待する人が多い。またそれらの効果とともに、運動や

スポーツを楽しむといった期待

や運動・スポーツに地域の人々との交流の場を期待している市

民の多いとも認められよう。

特に男子は職場の友人との交際の場としてスポーツの機能を、女子は美容・健康のためのス

ポーツの機能を期待しているよ

うである。

(3) 体育・スポーツ事業への参加

社会体育行政の方向を模索するため、住民の意識・欲求・ス

ポーツ活動の様子等について客観的な資料を得ることを目的

としている。結果の概要是以下

のようにまとめられよう。

(1) 健康・体力に対する意識

市民の健康・体力に対する意

識は、自信のある人よりもむしろ不安をもっている人の方が多く、この傾向は特に女子に顕著

である。また、健康や体力向上

のために心掛けていることでは

運動の実質性から住民を運動

生活という概念で促されない

ことがある。運動している人をみる

と、スポーツ大会に参加して

単位の行事や個人的な活動が活発であることを示唆するものであろう。しかし性別みると、女子よりも男子のスポーツ実施率が高いようである。今日の一

般的な状況としては、女子のはうが余暇時間はたくさん作れる

と考えられている。もしそうで

あるとすると、女子のスポーツ活動が少ないことは、柏崎市の特徴であるといえよう。

体育・スポーツ事業に参加している程度は、週単位で活動している人が少なく、月に数回、年に数回の程度の人が多い傾向

にある。この結果は、運動会や大会への参加者が多いためから

も予想できることであろうが、個人的で自由に運動している人

にも同様な傾向がみられる。さ

らに、運動・スポーツに健康や

体力の維持向上を期待する人が多いことを考慮すると、運動の

頻度との関係からみて、果して

スポーツへの期待や効果が十分

達成されているかが問題となる

う。

(4) 市民の運動生活

運動の実質性から住民を運動

生活という概念で促されない

ことがある。運動している人をみ

ると、スポーツ大会に参加して

は、更に詳細な分析が必要と

多いことは先の結果からも予想

できる。運動している人をみ

ると、スポーツ大会に参加して

は、実質的な運動

運動を行なう人(大会P運動者)が多いことがわかる。スポーツクラブに入つて運動している人(C運動者)、個人的に自由に運動している人(A運動者)を

その活動頻度の実質性からみると、非常に少なくなっている。

地域別【注2】にみると、各

A運動者が多く、北部はC運動者とスポーツ教室に参加して運動を行なう人(教室P運動者)が

多いことが、西部、東北部、東部、南部は大会P運動者の多い

地域とし大會P運動者が多いこと、非常に少くなっている。



テイーセンターを中心に行われているようである。個人的で自由な運動では、海水浴場といったレジャー施設から、民間ス

(7)運動・スポーツ実施の抵抗条件

それを依存しているようである。
ティーセンターが思うように

(注1)運動者
C 運動者……Club 運動者
(注2)地域の構成
・中央中部……柏崎小学校区
・中央北部……比角小学校区
・中央南西部……枇杷島小、大洲小、半田小学校区
・西部……諏訪波小、上米山小、米山小学校区
・東北部……日吉小、北隣石小、中通小、横原小、田尻小学校区
・東部……南隣石小、諏訪石小、北条南小、北条北小学校区
・南部……旧高田小、旧上条小、別保小、野田小、鶴川小学校区
・北部……荒浜小、高浜小学校区



者はないものの、体操、フリースケート、テニスが比較的多く行われている種目である。スポーツの競技会や大会で行った種目で多いものは、野球、バレーボール、ソフトボール、ボーリング、卓球である。施設を利用した自由な運動では、歩け歩け運動・散歩、軽い球技、体操、ランニング、水泳が多く行われている種目である。

(6)利用している運動施設

スポーツクラブや同好会で利用している施設では、市民球場、コミニティーセンター、中越スポーツハウス、学校体育施設である。スポーツの競技会や大会は、学校体育施設、コミニ

ティーセンターが地域差なく別に利用している運動施設をみると、市民球場、中越スポーツハウス、学校体育施設、コミニティーセンターが地域差なく多く利用されている。しかし、中央中部、北部、南西部といつた市の中心部では、陸上競技場、市民球場、中越スポーツハウスに活動の拠点を依存し、それ以外の周辺地域では、学校体育施設、コミニティーセンターに

しあわせに運動・スポーツを実践しようとする際に、そのための機会と内容、仲間、場所の条件がうまく整っていないことをあげる人も多くみられ、なかでも特に、スポーツ教室の種目、時間帯の不一致、運動仲間や運動する場所の欠如などが、多くみられる抵抗条件であった。

地域別にみると、スポーツ教室、運動施設の不足がないことが抵抗条件となっていた割合が高い地域は南部、北部である。また、スポーツ教室がないことを抵抗条件としてあげている人は南部に多くみられた。

従って、このようないくつかの運動事業の運営を地域ごとに工夫することにより、市民の欲求に合ったサービスを開発したり、ひいてはより豊かな運動生活へと住民を導くことのできる可能性のあることが示唆されよ

(8)運動・スポーツ活動の可能な曜日・時間帯
運動・スポーツ活動の可能な曜日・時間帯は、日曜・祭日が最も可能であるとしているが、土曜日は不可能な人が多い。また、曜日は決まっていない人も多くみられる。時間帯は、決まっていないとしている人が多くみられたが、時間帯を答えている者のなかでは夜間に運動が可能としている人が多い。

(9)今後必要とする体育・スポーツ事業
市民が今後必要と思っている体育・スポーツ事業は、スポーツ教室、健康・体力相談のプログラム・サービスから、スポーツ行事PRまで多様である。男子では、スポーツの大会や一流選手の試合・全国レベルの大会といった催しを希望する人が多い。

(10)望まれる指導者像
地域別の特徴としては、先に述べた各種のサービスが共通しているものではあるが、西部・東部・東北部・南部に運動会の必要性が高い。また、スポーツクラブの育成は東部・指導者の養成は東北部に特に要望されているサービスというようにみると、そのような指導者像の指導に留まるのではなく、

それが手がかかる。仕事が忙しいといった個人的な事情（主観的条件）により運動・スポーツを

行うにいたらなかった人が多くみられる。特に、女子においてその傾向が強い。

しかし運動・スポーツを実践しようとする際に、そのための機会と内容、仲間、場所の条件がうまく整っていないことをあげる人も多くみられ、なかでも特に、スポーツ教室の種目、時間帯の不一致、運動仲間や運動する場所の欠如などが、多くみられる抵抗条件であった。

地域別にみると、スポーツ教室、運動施設の不足がないことが抵抗条件となっていた割合が高い地域は南部、北部である。また、スポーツ教室がないことを抵抗条件としてあげている人は南部に多くみられた。

従って、このようないくつかの運動事業の運営を地域ごとに工夫することにより、市民の欲求に合ったサービスを開発したり、ひいてはより豊かな運動生活へと住民を導くことのできる可能性のあることが示唆されよ

（11）今後利用したい運動施設
今後利用したい運動施設は、スポーツクラブ・同好会や個人的で自由な活動では中越スポーツハウス、コミニティーセンターの利用を多く希望していた。個人的で自由な活動ではこれら

の施設の他に民間スポーツ施設、海水浴場、スキー場、公園と希望施設が多様になっている。運動会・スポーツ大会、スポーツ教室といったプログラムでの利用希望施設は、中越スポーツハウス、コミニティーセンターの他に学校体育施設、陸上競技場も比較的高い利用希望を示していた。

（12）今後必要とされる運動施設
今後必要とされている運動施設は総合運動公園、大規模な総合体育館といった多様なスポーツ種目が可能な施設とスケート場、スキー場という野外運動施設である。また、夜間照明施設の希望も多くなっている。地域の特徴をみると、夜間照明施設を要求している人は東部、北部・西部に多く、スキー場は東部・東北部・中央北部に、小体育館は西部に要望が強い。

3、柏崎市社会体育行政の課題

最後に、今回の調査結果から推測される、柏崎市が抱えている問題点・課題を指摘しながら今後の社会体育行政の方針について、簡単にまとめてみよう。

1、市民の運動生活にみられる特徴・問題点では、住民の運動生活が運動会やスポーツ大会で運動しているというポイント的な運動生活をおくっているものが多く、スポーツクラブや同好会で、あるいは個人的に自由な運動を実質的な効果が期待できる程に活動している人が少ないということである。確かにスポーツに地域の人々との交流といった手段的な側面を期待すれば、最も広い範囲で交際を可能とするのは「大会」という行事であるということができ、単発的なプログラムでの活動にはそれなりの機能は十分認めるものの、運動者が健康や美容をスポーツに期待するとしたら、それがだけでは運動の効果を上げるのに難しいといえるであろう。

その意味から大会や競技会をとしてスポーツ振興を考えるとするならば、単発的なプログラムから、例え、月に一度位の頻度で行われるよう継続的なプログラムが準備される必要がある。さらにスポーツ大会の内容を考慮すると、町内会や青年会、婦人会といった地域の組織を基盤にした参加の自由なプログラムからスポーツクラブが中心となって行われる柏崎全市を対象とした競技会まで多様な内容が考えられる。

体育・スポーツの振興を願う立場からは、運動の効果をより期待できるスポーツクラブや同好会での活動が盛んになることを強く希望するものであるが、大会や競技会を基盤にして、それに参加するクラブを同時に育成してゆくという方法も考え方でよいであろう。但し、スポーツの大会や競技会を多くする、気軽に個人的に施設を利用してもよいという人々（A運動者）の活動を阻害してしまったことがよくある。A運動者もプログラムやスポーツクラブに参加するようになる可能性は十分あり、またA運動者として他の運動者の利用にも十分な配慮が要求されよう。

2、住民が強く希望する体育・スポーツ事業としては、スポーツ教室や健康相談があげられていた。スポーツ教室は、スポーツクラブへと橋渡しをする働きを期待できる事業であり、健康相談も市民の健康・美容と密接に関連した事業であり、今後の公公園、地域体育館の利用および利用希望が低くなっている。この結果は、スポーツを行なう際に事業計画に盛り込まなければならぬであろう。さらにスポーツ行事に関するP.R.の希望が多い。P.R.は行政サービスに関する情報を住民に知つてもらうだけなく、住民のスポーツ欲求を顕在化するという機能も期待できるものであり、スポーツの振興には欠かせないサービスであるといえよう。

3、他県の市町村では、男子に比べ女子のスポーツ活動の方が活発であるが、柏崎市では女子のスポーツ活動が停滞している。もちろん動き盛りの男子にスポーツが盛んなことは、十分評価されるであろう。しかし、今後の方向として、余暇時間を容易に作りやすいと考えられる女子のスポーツ活動を盛んにするため、女子の希望する活動形態の吟味が必要となろう。

4、地域別にスポーツの振興度をみると、市の中心部が盛んで周辺部では盛んとはいえない。結果の概要でもわかるように、周辺の地域では経営的・行政的な抵抗条件をあげる人が多く、また夜間照明施設を多く希望しており、それらの地域の人が運動やスポーツを行なたくないというのではなく運動の環境を整えることにより彼らを運動へと動員できる可能性を示している。さらに、一部の施設を除いては、各ブール、テニスコート、運動

61年度柏崎体育団賛助会員名簿(順不同)

新潟ウオシントン(株)柏崎工場	橋崎工業㈱
日本メック工業㈱	小松造機㈱
㈱植木組	㈱内田製作所
㈱リケン	㈱近藤組
理研鑄造㈱	三井田自動車修理工場(有)
(有)佐渡五旅館	北日本食品工業㈱
㈱西川鉄工所	㈱朝日木材
㈱最上屋	㈱石塚組
㈱北野屋	天屋旅館
㈱にしまき	㈱登久満
㈱小林文英堂	新潟日本電気㈱
柏崎シルバープラント	柏崎市ハイヤー協会
大和商事㈱	㈱研磨舎柏崎工場
藤村ヒューム管㈱	㈱加藤スプリング製作所
中村石油㈱	東京電力㈱新潟建設所
明治乳業㈱新潟工場	㈱北星製作所
㈱高橋商店	㈱木山電機工業所
富士産業㈱	㈱東山工務店
日本通運㈱柏崎支店	関柳コンクリート工業㈱
八幡開発㈱	㈱割烹さゝ川
柏崎魚市場	柏崎印刷㈱
日本石油加工㈱柏崎工場	石高建設㈱
㈱吉田鉄工所	水野紀一
東北工業㈱	丸高建設㈱
㈱砲金工場	北陸自動車㈱
㈱砲金工場	㈱中沢建設
㈱砲金工場	村田建設㈱
㈱砲金工場	㈱高伝商店
㈱砲金工場	丸電機㈱
㈱砲金工場	㈱吉岡食品
㈱砲金工場	関医院
㈱砲金工場	柳井建設
㈱砲金工場	柏崎支店
㈱砲金工場	新越測量㈱
㈱砲金工場	㈱ナルサワコンサルタンクト
㈱砲金工場	柏陽機械㈱
㈱砲金工場	大原運動用品㈱
㈱砲金工場	㈱伊人組
㈱砲金工場	新越商鋼㈱
㈱砲金工場	松島
㈱砲金工場	黒金工業㈱
㈱砲金工場	㈱アオキ住建
㈱砲金工場	柏崎電工㈱
㈱砲金工場	㈱海津塗装工業所
㈱砲金工場	東北電気工事㈱柏崎営業所
㈱砲金工場	㈱理研柏崎工作所
㈱砲金工場	㈱おくい
㈱砲金工場	㈱竹内電設
㈱砲金工場	㈱柏崎生コン
㈱砲金工場	柏陽ガス水道工業所
㈱砲金工場	㈱魚友
㈱砲金工場	臨海工業協同組合
㈱砲金工場	越後交通㈱柏崎営業所
㈱砲金工場	柏崎平安閣
㈱砲金工場	㈱吉岡食品
㈱砲金工場	（有）柳製缶所
㈱砲金工場	柏崎信用金庫
㈱砲金工場	（有）柏崎仕出センター
㈱砲金工場	㈱北越銀行柏崎支店
㈱砲金工場	㈱吉田鉄工所
㈱砲金工場	（有）熊本紙器工業所
㈱砲金工場	㈱藤田製パン所
㈱砲金工場	（有）共和印刷
㈱砲金工場	ベル・セイコ
㈱砲金工場	久松
㈱砲金工場	㈲岬館
㈱砲金工場	㈱上洲屋

編集後記

皆様のご理解と、ご協力に感謝申し上げます。

新潟は飛躍の年と、よく云われますが、柏崎体育も今年は飛躍の年となるよう、心から祈念しております。

兎年は飛躍の為には、どっしりとした基礎がなくてはなりません。柏崎体育の基礎になる、市民意識調査の報告書が市教育委員会より提出されました。

じっくりと読み返して頂いて、共に柏崎体育の振興について、考えてみましょう。

市民ニーズがどこにあるのか、そして弱点は、どこなのか。振り返って自己反省をし、そして行く手を、しっかりと見極めることこそ、飛躍の土台になるのです。

加盟の全団体に、もれなく配布されるように考えます。

今年も又、色々な事で御世話になりますが、よろしく願います。